

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
1	昭44	1969/11/28	井坂 英彦	(財)佐々木研究所	部長	腹水腫瘍による癌の細胞病理学的研究
1	昭44	1969/11/28	佐々木 本道	北海道大学理学部動物染色体研究施設	助教授	白血病細胞の染色体研究
1	昭44	1969/11/28	菅野 晴夫	(財)癌研究会癌研究所	部長	組織培養による胃癌細胞の研究
1	昭44	1969/11/28	須田 正巳	大阪大学蛋白質研究所	教授	担癌生体における代謝偏倚と、その原因に関する研究
1	昭44	1969/11/28	西村 暹	国立がんセンター研究所	部長	転移核酸の遺伝情報認識機構に関する研究
1	昭44	1969/11/28	松澤 大樹	愛知県がんセンター研究所	部長	高エネルギー放射線治療における癌組織の細胞動態学的研究
2	昭45	1971/2/22	小高 健	東京大学医科学研究所	助教授	Friend白血病ウイルスに対する感受性の遺伝
2	昭45	1971/2/22	小野 哲生	(財)癌研究会癌研究所	部長	細胞質遺伝因子(DNA)の機能と癌化における役割
2	昭45	1971/2/22	川添 豊	国立がんセンター研究所	室長	化学物質の発癌過程の化学反応論的解析
2	昭45	1971/2/22	西塚 泰章	愛知県がんセンター研究所	部長	癌発生の制御にあずかる生体条件の研究 特に胸腺機能と関係して
2	昭45	1971/2/22	堀尾 武一	大阪大学蛋白質研究所	助教授	癌細胞クロマチンからトキソホルモンの単離およびその性状の研究
3	昭46	1972/2/22	小田嶋 成和	国立衛生試験所	部長	N-nitrosobutylurea (NBU)およびその誘導体による実験的白血病
3	昭46	1972/2/22	加藤 四郎	大阪大学微生物病研究所	教授	マレック氏病ウイルスワクチンによる発癌防禦機構に関する研究
3	昭46	1972/2/22	佐藤 茂秋	東京大学医科学研究所	助手	癌細胞における異常な分化の研究
3	昭46	1972/2/22	下條 寛人	東京大学医科学研究所	教授	癌ウイルス変異株によるウイルス発癌の機序の解析
3	昭46	1972/2/22	高山 昭三	(財)癌研究会癌研究所	部長	天然に存在する癌原性化学物質、特にCycasin, Aflatoxinおよび各種のnitroso化合物の経胎盤法による腫瘍形成 小児癌発生機序の解明に関連して
3	昭46	1972/2/22	千原 呉郎	国立がんセンター研究所	室長	多糖体の抗腫瘍性と癌に対する生体固有の抵抗因子に関する研究
3	昭46	1972/2/22	豊島 久真男	大阪大学微生物病研究所	助教授	トリ肉腫ウイルスにおける肉腫ゲノムとウイルスゲノムの関連性に関する研究
3	昭46	1972/2/22	日沼 頼夫	熊本大学医学部	教授	EBウイルスの癌病因論的研究 特に新抗原について
3	昭46	1972/2/22	藤井 節郎	徳島大学医学部	教授	トキソホルモンの研究
4	昭47	1973/2/22	市川 康夫	京都大学ウイルス研究所	助教授	白血病細胞の分化
4	昭47	1973/2/22	宇多小路 正	(財)癌研究会癌研究所	研究員	人および動物染色体の化学構築
4	昭47	1973/2/22	小林 博	北海道大学医学部癌研究施設	教授	発癌と免疫との関係に関する研究
4	昭47	1973/2/22	竹内 正	国立がんセンター病院	医員	ヒトの硬性胃癌(スキルス)におけるコラーゲン生成機構の解明
4	昭47	1973/2/22	竹内 富雄	(財)微生物化学研究所	部長	蛋白質分解酵素阻害剤(ロイペプチン)による発癌抑制に関する研究
4	昭47	1973/2/22	千原 呉郎	国立がんセンター研究所	室長	癌に対する生体固有の抵抗機構とその促進物質に関する研究
4	昭47	1973/2/22	長与 健夫	愛知県がんセンター研究所	部長	胃癌の発生、発育に関する組織学的、実験的研究
4	昭47	1973/2/22	秦 藤樹	北里研究所部長 北里大学	教授	新放線菌(OS-3256)の産生する抗腫瘍性抗生物質に関する研究
4	昭47	1973/2/22	早石 修	京都大学医学部	教授	Poly ADP-riboseの生物学的意義について
4	昭47	1973/2/22	吉田 迪弘	北海道大学理学部動物染色体研究施設	助教授	細胞雑種法による腫瘍性の分析
5	昭48	1974/2/22	井川 洋二	(財)癌研究会癌研究所	研究員	培養フレンド白血病細胞のin vitroにおける分化の誘導および分化機序の解明
5	昭48	1974/2/22	遠藤 英也	九州大学医学部	教授	ひと胃癌発生の原因物質の研究

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
5	昭48	1974/2/22	大里 外誉郎	北海道大学医学部	教授	潜在人がんウイルスゲノムの動態とその活性化に関する研究 ヒト細胞におけるEBウイルスとC型ウイルスの重感染を中心に
5	昭48	1974/2/22	高橋 理明	大阪大学微生物病研究所	助教授	ヘルペスウイルス温度感受性変異株による発癌の研究
5	昭48	1974/2/22	早石 修	京都大学医学部	教授	Poly ADP-riboseの生物学的意義について
5	昭48	1974/2/22	平井 秀松	北海道大学医学部	教授	肝炎と肝癌の因果関係の解析
5	昭48	1974/2/22	福岡 文子	国立がんセンター研究所	部長	核酸の微量成分及びその誘導体の合成とその制癌への応用
5	昭48	1974/2/22	松島 泰次郎	東京大学医科学研究所	助教授	癌原生と突然変異誘起性との関係について
5	昭48	1974/2/22	村松 正実	徳島大学医学部	教授	癌細胞における核小体およびリボゾームRNAの特異性
6	昭49	1975/2/22	東 市郎	大阪大学医学部	助手	BCGおよび類縁菌の菌体成分による癌の免疫療法に関する基礎的研究
6	昭49	1975/2/22	漆崎 一朗	札幌医科大学癌研究所	教授	がん細胞およびがん血清中の細胞性免疫抑制物質の本態と作用機構にかんする研究
6	昭49	1975/2/22	及川 淳	東北大学抗酸菌病研究所	教授	悪性黒色腫瘍細胞の分化した機能(メラニン合成能)の制御と糖代謝
6	昭49	1975/2/22	賀田 恒夫	国立遺伝学研究所	部長	突然変異原性とがん原性の評価方法に関する研究
6	昭49	1975/2/22	加藤 四郎	大阪大学微生物病研究所	教授	マレック病リンパ腫由来培養株細胞に関する研究
6	昭49	1975/2/22	杉山 武敏	神戸大学医学部	教授	染色体組換えと発癌
6	昭49	1975/2/22	野村 大成	大阪大学医学部癌研	医員	癌原性物質のマウス胎児および生殖細胞に及ぼす影響 ↓特に腫瘍発生とその解析 ↓
6	昭49	1975/2/22	長谷川 博	国立がんセンター病院	医長	人の肝広範囲切除後におけるアミノ酸および燐酸代謝の研究
6	昭49	1975/2/22	馬場 恒男	九州大学医学部癌研究施設	教授	新しい癌化学療法開発の試み ↓薬剤投与後局所血行一時停止療法の基礎実験的研究 ↓
6	昭49	1975/2/22	六反田 亮	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	マウス肉腫ウイルス(MSV)の増殖及び同ウイルスによる形質転換の生化学的研究
7	昭50	1976/2/23	東 市郎	大阪大学医学部	助手	BCG細胞壁及び類縁物質による癌の免疫療法 ↓基礎的研究と臨床応用 ↓
7	昭50	1976/2/23	市原 明	徳島大学医学部	教授	ヒト癌を主とする分岐鎖アミノ酸トランスアミナーゼ・アイソザイムの偏倚の研究
7	昭50	1976/2/23	河内 卓	国立がんセンター研究所	部長	胃にみられる腸上皮化生の生化学的研究 ↓胃の前癌状態との関連について ↓
7	昭50	1976/2/23	木村 元喜	鳥取大学医学部	教授	パポーウイルスの発癌機構
7	昭50	1976/2/23	木幡 陽	神戸大学医学部	教授	細胞の悪性化に伴う細胞表面構造の変化とその生理学的意義
7	昭50	1976/2/23	多田 満彦	愛知県がんセンター研究所	室長	4-ニトロキノリン1-オキシドの代謝的活性化と核酸への結合の研究
7	昭50	1976/2/23	塚越 茂	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	免疫刺激剤と表面膜修飾がん細胞とを用いてのがん抵抗性の誘導 ↓L1210マウス白血病の場合 ↓
7	昭50	1976/2/23	早石 修	京都大学医学部	教授	Poly(ADP-ribose)生合成と発癌機構について
7	昭50	1976/2/23	山本 正	東京大学医科学研究所	所長	癌原物質の閾値決定とTier Methodの研究
8	昭51	1977/2/22	及川 淳	東北大学抗酸菌病研究所	教授	DNA修復欠損をもつ培養系リンパ芽球様細胞による癌原性物質の選別
8	昭51	1977/2/22	小田 鈎一郎	東京大学医科学研究所	助教授	腫瘍ウイルス(SV40)による細胞のトランスホメーションの機構
8	昭51	1977/2/22	河内 卓	国立がんセンター研究所	副所長	食物の調理による突然変異原物質の生成 ↓特に人の癌の原因との関連について

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
8	昭51	1977/2/22	北川 知行	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	肝癌発生過程の研究
8	昭51	1977/2/22	馬場 恒男	九州大学医学部癌研究施設	教授	癌の生物学的特異性に基づく癌選択障碍因子の研究
8	昭51	1977/2/22	広野 巖	岐阜大学医学部	教授	植物性天然発癌物質に関する研究
8	昭51	1977/2/22	藤永 恵(「けい」は)	札幌医科大学癌研究所	教授	造腫瘍性ヒトアデノウイルスの遺伝子地図
8	昭51	1977/2/22	渡邊 格	慶應義塾大学医学部	教授	tRNA依存グアニン取り込み活性の腫瘍細胞特異性について
9	昭52	1978/2/22	伊東 信行	名古屋市立大学医学部	教授	膀胱癌に関する実験的研究
9	昭52	1978/2/22	上田 國寛	京都大学化学研究所	助手	癌細胞の異常なGene ExpressionとポリADP-リボシル化
9	昭52	1978/2/22	梅澤 一夫	東京大学医科学研究所	助手	ハムスター胎児細胞の試験管内発癌とその抑制の研究
9	昭52	1978/2/22	岡田 正志	(財)東京生化学研究所	所長	ニトロソアミンによる膀胱発癌の機作に関する研究
9	昭52	1978/2/22	小林 博	北海道大学医学部癌研究施設	教授	異物化癌細胞の膜面における抗原局在に関する研究
9	昭52	1978/2/22	豊島 滋	慶應義塾大学医学部	教授	多能的性格をもつ制癌剤開発の基礎的研究 特に免疫刺激効果と癌細胞増殖抑制効果を併有する制癌性アミノ酸誘導体について
9	昭52	1978/2/22	長尾 美奈子	国立がんセンター研究所	室長	環境中、特に食品中の癌原性物質の検出
9	昭52	1978/2/22	長瀬 すみ	(財)佐々木研究所	主任研究員	がん研究に用いられる実験動物の臨床生化学的研究
9	昭52	1978/2/22	西塚 泰美	神戸大学医学部	教授	癌細胞のホルモン受容機構と情報伝達に関する生化学、および蛍光抗体による組織化学的研究
9	昭52	1978/2/22	吉田 光昭	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	トリ肉腫ウイルスの肉腫遺伝子(Sarc-gene)の発現と癌化誘導に関する研究
10	昭53	1978/11/22	池永 満生	大阪大学医学部	助教授	ショウジョウバエにおける4NQOおよびアルキル化剤によるDNA損傷と発癌
10	昭53	1978/11/22	勝沼 信彦	徳島大学医学部	教授	リンパ性白血病治療へのグルココルチコイド作用増強物質適用の基礎的研究
10	昭53	1978/11/22	小池 克郎	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	発癌剤によるDNA複製機構の修飾に関する研究
10	昭53	1978/11/22	坂倉 照女予(「よ」)	愛知県がんセンター研究所	室長	乳腺の分化と乳癌発生 _↓ 特に上皮・間葉両成分の相互作用と関係して _↓
10	昭53	1978/11/22	佐々木 本道	北海道大学理学部動物染色体研究施設長	教授	ヒト及びムンチャクの培養体細胞による発癌機構の細胞遺伝学的解析
10	昭53	1978/11/22	高井 克治	京都大学医学部	助手	トリプトファンの酵素的除去による癌治療の基礎的研究
10	昭53	1978/11/22	長瀬 すみ	(財)佐々木研究所	主任研究員	無アルブミン血症ラットにおける癌研究
10	昭53	1978/11/22	西村 暉	国立がんセンター研究所	部長	腫瘍特異tRNAの同定とその癌診断と制癌への応用
10	昭53	1978/11/22	松本 圭史	大阪大学医学部癌研	教授	ホルモン受容体と乳癌の増殖と抑制
10	昭53	1978/11/22	山口 宣生	東京大学医科学研究所	助手	シミアンウイルス40の発癌遺伝子産物T抗原の機能と解析
11	昭54	1980/2/22	倉恒 匡徳	九州大学医学部	教授	インドの菜食主義者の癌に関する疫学的研究
11	昭54	1980/2/22	黒木 登志夫	東京大学医科学研究所	助教授	ヒト皮膚角化細胞を用いた化学発癌の研究
11	昭54	1980/2/22	武部 啓	京都大学放射線生物研究センター	教授	高発がん性遺伝病細胞を用いた生体外発がん実験系の確立
11	昭54	1980/2/22	原田 文夫	国立がんセンター研究所	室長	RNA腫瘍ウイルスの粒子内に存在する新低分子量RNAの構造と機能
11	昭54	1980/2/22	藤木 博太	国立がんセンター研究所	室長	自然界に存在する発癌促進物質(プロモーター)の開発
11	昭54	1980/2/22	藤永 恵(「けい」は)	札幌医科大学癌研究所	教授	ウイルス発癌遺伝子の構造と遺伝情報発現

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
11	昭54	1980/2/22	牧田 章	北海道大学医学部	教授	ヒト肺癌組織の生化学的研究
11	昭54	1980/2/22	松島 泰次郎	東京大学医科学研究所	教授	癌原物質の代謝活性化系の研究
11	昭54	1980/2/22	村松 正実	(財)癌研究会癌研究所	部長	動物細胞リボソームRNA遺伝子の構造と機能調節
11	昭54	1980/2/22	渡辺 昌	国立がんセンター研究所	室長	人白血病・悪性リンパ腫のnude miceへの移植系の確立
12	昭55	1981/2/22	東 市郎	北海道大学免疫科学研究所	教授	癌免疫療法に関する基礎的研究
12	昭55	1981/2/22	石川 隆俊	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	器官培養を用いた癌原物質によるDNA修復の研究
12	昭55	1981/2/22	石舘 基	国立衛生試験所	部長	環境変異原・癌原物質の短期スクリーニング法の開発並びに情報データの集積
12	昭55	1981/2/22	井村 裕夫	京都大学医学部	教授	腫瘍における異所性ホルモン産生の機序に関する研究
12	昭55	1981/2/22	小川 一誠	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	癌化学療法効果の予言性確立のための基礎的・臨床的研究
12	昭55	1981/2/22	児玉 光雄	愛知県がんセンター研究所	室長	癌と内分泌環境
12	昭55	1981/2/22	白石 行正	高知医科大学	助教授	高知県における白血病・前白血病の早期発見に関する細胞遺伝学的研究
12	昭55	1981/2/22	白木 和子	東京大学医科学研究所	助手	アデノウイルス12型の発癌遺伝子の機能検討
12	昭55	1981/2/22	寺田 雅昭	国立がんセンター研究所	室長	ジフテリア毒素抵抗性変異細胞を指標とする環境癌原物質の検索
12	昭55	1981/2/22	吉倉 廣	東京大学医科学研究所	助教授	マウスC型ウイルスのDNAプロウイルスの宿主DNAへの編入に関する宿主因子の解析
12	昭55	1981/2/22	吉田 修	京都大学医学部	教授	膀胱の発癌機構に関する研究、特にヒト尿中のイニシエーターおよびプロモーターについて
13	昭56	1982/2/22	井坂 英彦	鹿児島大学医学部	教授	再構成細胞を用いたがんの研究
13	昭56	1982/2/22	江角 浩安	国立がんセンター研究所	室長	無アルブミン血症ラットを用いたmRNAプロセッシング機構の研究と癌原物質による体細胞突然変異の研究
13	昭56	1982/2/22	梶井 正	山口大学医学部	教授	絨毛上皮腫の起源の研究
13	昭56	1982/2/22	片岡 建之	(財)癌研究会癌化学療法センター	主任研究員	免疫抑制細胞の除去に基いた癌免疫化学療法の開発
13	昭56	1982/2/22	川市 正史	京都大学医学部	医員	発癌因子によってひきおこされるDNA損傷の修復過程におけるポリ(ADP-リボシル)化反応の役割
13	昭56	1982/2/22	岸本 忠三	大阪大学医学部	教授	キラーT細胞誘導を調節するヒトT細胞クローンの確立と調節因子の解析
13	昭56	1982/2/22	佐々木 正夫	京都大学放射線生物研究センター	教授	高発癌性遺伝疾患の病因と癌化の機構に関する細胞遺伝学的研究
13	昭56	1982/2/22	高月 清	熊本大学医学部	教授	成人T細胞白血病の研究
13	昭56	1982/2/22	幕内 雅敏	国立がんセンター病院	医師	超音波ガイド下肝切除術のための術中超音波探触子の開発に関する研究
13	昭56	1982/2/22	松倉 則夫	国立がんセンター研究所	室長	胃癌発生の遺伝背景に関する実験的研究、特にNメチル-N'-ニトロ-N-ニトロソグアニジン(MNNG)による胃癌発生のラット系統差について
13	昭56	1982/2/22	宮木 美知子	(財)東京都臨床医学総合研究所	室長	高発癌性優性遺伝疾患における発癌素因の研究
13	昭56	1982/2/22	三好 勇夫	高知医科大学	助教授	成人T細胞白血病患者よりのC型ウイルスの分離とその病因的意義
14	昭57	1983/2/22	石橋 正英	愛知県がんセンター研究所	部長	腫瘍細胞中に存在する腫瘍化関連遺伝子の染色体上座位の解析のために、より鋭敏な <i>in situ</i> hybridization法の開発、材料としてアデノウイルス誘発腫瘍細胞を用いた解析
14	昭57	1983/2/22	垣添 忠生	国立がんセンター病院	医師	単離膀胱上皮のレクチンによる凝集維持を指標とした膀胱発癌プロモーター、インヒビターの検索
14	昭57	1983/2/22	河井 貞明	東京大学医科学研究所	助教授	トリRNA腫瘍ウイルスに見い出される発癌遺伝子の研究

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
14	昭57	1983/2/22	高橋 道人	国立衛生試験所	室長	胃粘膜における胃癌プロモーター作用物質の影響
14	昭57	1983/2/22	谷口 維紹	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	インターフェロン遺伝子の構造と、その微生物並びに動物細胞における発見
14	昭57	1983/2/22	谷口 直之	北海道大学医学部癌研究施設	助教授	-グルタミルトランスペプチターゼの構造と癌化における糖鎖のプロセシング
14	昭57	1983/2/22	林 健志	国立がんセンター研究所	研究員	発がん過程における遺伝子増幅の役割
14	昭57	1983/2/22	藤井 義明	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	化学発癌物質の代謝活性化に関与しているチトクロームP-450遺伝子の構造とその発現機構の研究
14	昭57	1983/2/22	三輪 正直	国立がんセンター研究所	部長	ポリADP-リボース合成の発癌及び制癌における役割
14	昭57	1983/2/22	谷内 昭	札幌医科大学	教授	Carcinoembryonic antigen (CEA)に対するmonoclonal抗体を用いたCEA分子種の免疫学的検索ならびにその新しい臨床応用に関する研究
14	昭57	1983/2/22	若林 敬二	国立がんセンター研究所	研究員	亜硝酸処理により生成されるしょう油中の変異原・癌原物質に関する研究
15	昭58	1984/2/22	井川 洋二	理化学研究所	主任研究員	マウス内在性レトロウイルスenv遺伝子由来の白血病遺伝子の構造と機能の解析
15	昭58	1984/2/22	岡田 秀親	福岡大学医学部	教授	腫瘍細胞膜上の自己補体認識因子についての解析
15	昭58	1984/2/22	北村 幸彦	大阪大学医学部	教授	W/Wv突然変異マウスに自然発生する腫瘍のクローン性に関する研究
15	昭58	1984/2/22	関根 暉彬	国立がんセンター研究所	主任研究官	胃スキルス早期診断のための単クローン抗体の研究
15	昭58	1984/2/22	鶴尾 隆	(財)癌研究会癌化学療法センター	主任研究員	抗癌剤耐性の克服に関する基礎研究
15	昭58	1984/2/22	寺田 雅昭	国立がんセンター研究所	部長	ras family以外の癌遺伝子活性検出系の確立とその系を用いた人癌遺伝子の研究
15	昭58	1984/2/22	橋本 嘉幸	東北大学薬学部	教授	モノクローナル抗体を利用した膀胱癌並びに上皮性癌の診断・治療に関する基礎的研究
15	昭58	1984/2/22	濱岡 利之	大阪大学医学部	教授	T-T細胞間相互作用による腫瘍特異免疫療法の確立と腫瘍再発・進展阻止のこころみ
15	昭58	1984/2/22	日合 弘	愛知県がんセンター研究所	室長	白血病の発生・進展に関わる胸腺被膜下層微小環境の特性
15	昭58	1984/2/22	星野 洪郎	国立がんセンター研究所	室長	細胞融合形成試験を用いての成人T細胞白血病ウイルス(ATLV/HTLV)の感染の研究
15	昭58	1984/2/22	村松 正実	東京大学医学部	教授	癌細胞におけるリボソームRNA遺伝子活性化の機構
16	昭59	1985/2/22	加藤 隆一	慶應義塾大学医学部	教授	癌原性アミンのN-水酸化体のO-アセチル化酵素によるDNA傷害
16	昭59	1985/2/22	佐方 功幸	理化学研究所	研究員	ウシ白血病ウイルスの特異遺伝子(pXBL)の機能解析
16	昭59	1985/2/22	下遠野 邦忠	国立がんセンター研究所	室長	ヒトT-細胞白血病ウイルス(HTLV-II)の構造と機能、特に細胞側遺伝子発現を活性化させるウイルス遺伝子およびその産物について
16	昭59	1985/2/22	清木 元治	(財)癌研究会癌研究所	研究員	ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)による成人T細胞白血病(ATL)発症の分子機構
16	昭59	1985/2/22	瀬野 悍二	埼玉県立がんセンター研究所	部長	ヒト遺伝性fragile siteと癌細胞染色体転座の分子機構
16	昭59	1985/2/22	田ノ岡 宏	国立がんセンター研究所	部長	マウス皮膚における放射線発がんの条件、およびその細胞起源に関する研究
16	昭59	1985/2/22	長尾 美奈子	国立がんセンター研究所	室長	環境発がん物質による実験動物の発がんの過程とがん遺伝子活性化との関連
16	昭59	1985/2/22	半田 宏	東京大学医科学研究所	助教授	哺乳動物細胞における遺伝子発現の調節機構

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
16	昭59	1985/2/22	降旗 千恵	東京大学医科学研究所	助手	胃癌発生の促進因子および抑制因子の研究
16	昭59	1985/2/22	前田 浩	熊本大学医学部	教授	腫瘍新生血管の特性に基づく腫瘍選択的薬剤に関する研究
16	昭59	1985/2/22	村松 喬	鹿児島大学医学部	教授	テラトカルシノーマ幹細胞の糖鎖抗原の分子生物学的解析
17	昭60	1986/2/22	及川 淳	東北大学抗酸菌病研究所	教授	3-アミノハルマンの遺伝子毒性抑制効果
17	昭60	1986/2/22	小池 克郎	(財)癌研究会癌研究所	部長	ヒト肝癌発生におけるB型肝炎ウイルスDNAの役割
17	昭60	1986/2/22	佐藤 清美	弘前大学医学部	教授	新腫瘍マーカー:グルタチオンS 転移酵素P型に関する研究
17	昭60	1986/2/22	佐藤 周子	愛知県がんセンター研究所	部長	核骨格 および細胞骨格 結合タンパクの癌性細胞増殖における役割
17	昭60	1986/2/22	高山 昭三	国立がんセンター研究所	所長	日常環境下にある発癌物質の微量複合癌原作用
17	昭60	1986/2/22	谷口 克	千葉大学医学部	教授	メラノーマ抗原の化学構造同定と免疫学的特性
17	昭60	1986/2/22	津田 充宥	国立がんセンター研究所	室長	ヒト尿中に存在するニトロソ含硫アミノ酸の生物学的意義
17	昭60	1986/2/22	長瀬 すみ	(財)佐々木研究所	部長	無アルブミンラットによる癌研究
17	昭60	1986/2/22	日暮 真	山梨医科大学	教授	遺伝性高発がん性疾患の臨床生物学的研究
17	昭60	1986/2/22	吉倉 廣	東京大学医学部	教授	レトロウイルスゲノムの宿主DNAへの組み込み過程に関する未解決部分の解明
18	昭61	1987/2/21	有賀 寛芳	東京大学医科学研究所	助手	核内癌遺伝子のDNA複製蛋白としての役割
18	昭61	1987/2/21	石川 隆俊	(財)癌研究会癌研究所	部長	DNA修復遺伝子(<i>ada</i>)導入トランスジェニックマウスの作製と同マウスを用いた発癌実験
18	昭61	1987/2/21	木南 凌	東京大学医学部	助教授	染色体DNAの再編成及び染色体異数性出現の頻度への化学発癌物質・発癌プロモーターの影響
18	昭61	1987/2/21	斎藤 政樹	自治医科大学	教授	シアロ糖脂質(ガングリオシド)およびその有機合成類似体による制癌の試み シアロ糖脂質の抗白血病作用の特異的分子機構の解析
18	昭61	1987/2/21	佐藤 茂秋	国立がんセンター研究所	部長	加熱食品中の発癌物質のヒト発癌に対する危険度の実験的検討
18	昭61	1987/2/21	首藤 紘一	東京大学薬学部	教授	癌遺伝子の化学修飾
18	昭61	1987/2/21	高久 史磨	東京大学医学部	教授	白血球増殖因子(CSF)を用いた、新しい癌治療法の開発
18	昭61	1987/2/21	谷口 維紹	大阪大学細胞工学センター	教授	インターロイキン-2と受容体の作用機序及び遺伝子の発現制御機構の解析
18	昭61	1987/2/21	立木 蔚	東北大学抗酸菌病研究所	教授	化学発癌と蛋白チロシン残基のリン酸化
18	昭61	1987/2/21	藤木 博太	国立がんセンター研究所	部長	海洋生物に含まれる発癌抑制物質
19	昭62	1988/2/22	伊藤 嘉明	京都大学ウイルス研究所	教授	ポリオーマウイルス発癌遺伝子とエンハンサーの解析
19	昭62	1988/2/22	大垣 比呂子	国立がんセンター研究所	研究員	加熱食品中の新規の変異原物質の発癌性の研究
19	昭62	1988/2/22	岡部 哲郎	東京大学医学部	助手	モノクローナル抗体を用いたヒト肺小細胞癌の新しい診断及び治療法の開発
19	昭62	1988/2/22	神奈木 玲児	京都大学医学部	講師	糖鎖性の癌抗原を利用した癌治療法の研究
19	昭62	1988/2/22	菊地 浩吉	札幌医科大学	学長	人癌細胞に対する自己キラーT細胞クローンの確立とその応用
19	昭62	1988/2/22	澁谷 正史	東京大学医科学研究所	助教授	細胞増殖に関わる受容体遺伝子群の構造・機能の解析と腫瘍における活性化機構の研究

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
19	昭62	1988/2/22	鶴尾 隆	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	モノクローナル抗体を用いた抗癌剤耐性機構の研究とその診断、治療への応用
19	昭62	1988/2/22	樋野 興夫	(財)癌研究会癌研究所	研究員	トランスジェニックマウスを用いた肝炎ウイルスによる肝発癌機構の研究
19	昭62	1988/2/22	藤原 大美	大阪大学医学部バイオメディカルセンター	助教授	胸腺間質系細胞由来T細胞増殖因子の研究
19	昭62	1988/2/22	山口 建	国立がんセンター研究所	部長	肺癌増殖におけるトランスホーミング増殖因子の意義
20	昭63	1989/3/1	江角 浩安	国立がんセンター研究所	部長	ヘテロサイクリックアミンによる動物発癌の分子機構
20	昭63	1989/3/1	奥村 康	順天堂大学医学部	教授	細胞障害性リンパ球由来のPore Forming Protein (PFP)による腫瘍細胞障害機序の解析
20	昭63	1989/3/1	北川 知行	(財)癌研究会癌研究所	副所長	肝発癌過程の前癌性細胞における癌ないし癌関連遺伝子の変化およびその発現異常の解析
20	昭63	1989/3/1	小西 陽一	奈良県立医科大学	教授	膀胱癌の発生に関する実験的研究
20	昭63	1989/3/1	高井 義美	神戸大学医学部	教授	ras p21類似GTP結合蛋白質の機能と作用機構
20	昭63	1989/3/1	中村 敏一	九州大学理学部	教授	肝再生因子の本体HGFの遺伝子クローニングと構造解析
20	昭63	1989/3/1	西澤 誠	東京大学医科学研究所	助手	新しく同定された癌遺伝子mafの構造と機能
20	昭63	1989/3/1	野田 亮	理化学研究所	研究員	癌抑制遺伝子の単離と解析
20	昭63	1989/3/1	広橋 説雄	国立がんセンター研究所	室長	がん遺伝子異常の分子病理学 ヒトがんの発生・悪性度との関連について
20	昭63	1989/3/1	森 道夫	札幌医科大学	教授	慢性肝炎・肝癌自然発症ラットを用いた肝発癌の解析
21	平01	1990/2/22	伊庭 英夫	東京大学医科学研究所	助教授	新しく発見されたfos関連遺伝子、fra-2の発癌性に関する研究
21	平01	1990/2/22	桑野 信彦	大分医科大学医学部	教授	抗癌剤耐性の関連遺伝子の発現制御と耐性獲得の研究
21	平01	1990/2/22	関谷 剛男	国立がんセンター研究所	部長	ヒトがん細胞における一本鎖DNA高次構造変化の解析
21	平01	1990/2/22	田原 榮一	広島大学医学部	教授	食道癌・胃癌における増殖因子・レセプター系関連遺伝子の変化と異常発現の解析
21	平01	1990/2/22	中村 祐輔	(財)癌研究会癌研究所	部長	家族性大腸腺腫症の原因遺伝子の単離
21	平01	1990/2/22	平野 俊夫	大阪大学医学部	教授	インターロイキン6によって誘導される細胞増殖機構の解析
21	平01	1990/2/22	藤井 義明	東北大学理学部	教授	DNA結合因子と発癌物質の代謝活性化に関与するP-450遺伝子の発現制御
21	平01	1990/2/22	山村 研一	熊本大学医学部	教授	B型肝炎ウイルスによる肝炎・肝癌の発症の分子機構
21	平01	1990/2/22	横田 淳	国立がんセンター研究所	室長	ヒトがんにおけるがん抑制遺伝子異常に関する分子遺伝学的研究
21	平01	1990/2/22	渡辺 民朗	東北大学抗酸菌病研究所	教授	ヒト発癌に関与する内因性因子、特にチトクロームP-450の遺伝子多型性とその発現
22	平02	1991/2/22	木村 成道	東京都老人総合研究所	主任研究員	癌転移、シグナル伝達とNDPキナーゼ
22	平02	1991/2/22	葛巻 暉	北海道大学医学部	教授	癌細胞の造腫瘍性喪失に関わる遺伝子の解析
22	平02	1991/2/22	坂元 吾偉	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	乳腺の潜伏癌と進展に関する研究
22	平02	1991/2/22	下遠野 邦忠	国立がんセンター研究所	部長	非A非B型肝炎および肝がん由来のHCVゲノムの比較
22	平02	1991/2/22	武市 紀年	北海道大学医学部	助教授	肝炎・肝癌自然発症LECラットの肝癌発生機序に関する分子病理学研究

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
22	平02	1991/2/22	谷口 俊一郎	九州大学生体防御医学研究所	助教授	転移関連遺伝子の研究
22	平02	1991/2/22	出川 雅邦	東北大学薬学部	助手	肝癌発生過程におけるチトクロームP-450アイソザイムの変動とその特徴
22	平02	1991/2/22	成毛 韶夫	国立がんセンター病院	部長	気管・気管支形成術を応用した肺癌の治療に関する研究
22	平02	1991/2/22	平井 久丸	東京大学医学部	講師	多段階白血病発症における癌遺伝子と癌抑制遺伝子の共同作用の解析
22	平02	1991/2/22	福島 昭治	大阪市立大学医学部	教授	膀胱発癌の修飾に関する天然酸化防止剤の役割
22	平02	1991/2/22	藤村 真示	千葉大学医学部	教授	N-ニトロソ化合物による実験胃癌誘発と胃グアニレートシクラーゼの活性化について
22	平02	1991/2/22	宮村 達男	国立予防衛生研究所	室長	C型肝炎ウイルス遺伝子の情報発現と肝癌
23	平03	1992/2/22	相澤 慎一	理化学研究所ライフサイエンス筑波研究センター	副主任研究員	p53遺伝子欠失マウスでの個体発癌の解析
23	平03	1992/2/22	井村 伸正	北里大学薬学部	教授	複数の抗がん剤に対する耐性獲得因子としてのメタロチオネインの意義
23	平03	1992/2/22	押村 光雄	鳥取大学医学部	教授	染色体移入による胃がん抑制遺伝子のマッピングと機能に関する研究
23	平03	1992/2/22	斎藤 泉	東京大学医科学研究所	助教授	遺伝子発現技術を用いたC型肝炎の新しい診断法の開発
23	平03	1992/2/22	立松 正衛	愛知県がんセンター研究所	部長	系統特異的抗体によるキメラマウス腺胃発癌過程の解析
23	平03	1992/2/22	谷口 維紹	大阪大学細胞工学センター	教授	DNA結合因子IRF-1及びIRF-2による細胞増殖調節機構の解析
23	平03	1992/2/22	新津 洋司郎	札幌医科大学	教授	サイトカイン遺伝子を用いた癌遺伝子療法の開発
23	平03	1992/2/22	野田 哲生	(財)癌研究会癌研究所	部長	マウスES細胞を用いての家族性大腸腺腫症モデルマウスの作成と解析
23	平03	1992/2/22	羽倉 明	大阪大学微生物病研究所	教授	トランスジェニックマウスを用いたヒトパピローマウイルス(HPV16)E6E7遺伝子機能の研究
23	平03	1992/2/22	丸山 圭一	国立がんセンター病院	医長	合理的な胃癌手術治療法の研究 特に、リンパ節郭清と周囲臓器合併切除について
23	平03	1992/2/22	武藤 泰敏	岐阜大学医学部	教授	非環式レチノイドによる肝発癌抑制作用とその機構に関する研究
23	平03	1992/2/22	渡辺 昌	国立がんセンター研究所	部長	多重がん発生に及ぼす遺伝的素因および治療の影響に関する研究
24	平04	1993/3/1	秋山 徹	大阪大学微生物病研究所	助教授	癌抑制遺伝子産物の機能の解析
24	平04	1993/3/1	阿部 薫	国立がんセンター東病院	病院長	本邦における緩和ケア病棟への入院適応とその運営のあり方
24	平04	1993/3/1	今井 浩三	札幌医科大学	助教授	消化器癌における新しいチロシン脱リン酸化酵素遺伝子の解析とその応用
24	平04	1993/3/1	今井 高志	(財)癌研究会癌研究所	研究員	多発性内分泌腺腫瘍症1型原因遺伝子の同定
24	平04	1993/3/1	入村 達郎	東京大学薬学部	教授	ヒト大腸癌の転移性決定因子となる糖鎖抗原を介する細胞接着の研究
24	平04	1993/3/1	上田 龍三	愛知県がんセンター研究所	部長	乳児及び二次性白血病に観察される新しい転座関連遺伝子の単離と臨床応用
24	平04	1993/3/1	勝木 元也	九州大学生体防御医学研究所	教授	標的遺伝子置換法による個体発がんの研究
24	平04	1993/3/1	川尻 要	埼玉県立がんセンター研究所	副部長	薬物代謝酵素の遺伝子多型に基づく遺伝的発癌高危険度群の同定
24	平04	1993/3/1	小池 和彦	東京大学医学部	助手	トランスジェニックマウスを用いたB型肝炎ウイルスX遺伝子による肝発癌の機序の解明
24	平04	1993/3/1	菅村 和夫	東北大学医学部	教授	IL-2受容体の新たなサブユニット 鎖の構造と機能

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
24	平04	1993/3/1	浜田 洋文	(財)癌研究会癌化学療法センター	部長	遺伝子治療の基礎的研究: レトロウイルスベクターを用いた腫瘍壊死因子受容体関連遺伝子の発現による癌細胞増殖の抑制
24	平04	1993/3/1	早津 彦哉	岡山大学薬学部	教授	食物由来のヒト排泄物中の変異原性に対するクロロフィリンの修飾作用
24	平04	1993/3/1	山添 康	慶應義塾大学医学部	助教授	癌原物質を活性化するヒト肝スルホトランスフェラーゼの一次構造とその遺伝的多型の解析
25	平05	1994/2/22	秋山 伸一	鹿児島大学医学部	教授	チミジンホスホリラーゼによる血管新生の機構
25	平05	1994/2/22	権藤 洋一	九州大学生体防御医学研究所	講師	発がんリスクを鋭敏迅速に評価できるトランスジェニックマウスの開発
25	平05	1994/2/22	下山 正徳	国立がんセンター中央病院	副院長	人がん細胞培養株の抗がん剤耐性・薬剤感受性を指標にした新抗がん剤の臨床効果予測法と耐性克服法の開発研究
25	平05	1994/2/22	白井 智之	名古屋市立大学医学部	助教授	実験的前立腺がんの多段階的発育とその修飾に対する分子病理学的研究
25	平05	1994/2/22	野村 大成	大阪大学医学部	教授	改良SCIDマウスを用いたヒト良性腫瘍、前癌病変の特性と悪性化に関する研究
25	平05	1994/2/22	広橋 説雄	国立がんセンター研究所	副所長	がんの浸潤・転移における細胞接着分子の役割の把握
25	平05	1994/2/22	古川 鋼一	長崎大学医学部	助教授	癌特異的糖脂質抗原の発現機構
25	平05	1994/2/22	松本 邦夫	大阪大学医学部	助手	HGFによる制癌作用と癌細胞宿主相関の分子機構の解析
25	平05	1994/2/22	宮崎 香	横浜市立大学木原生物学研究所	助教授	マトリックスプロテアーゼとそのインヒビターの癌の診断・治療への応用
25	平05	1994/2/22	吉田 龍太郎	(財)大阪バイオサイエンス研究所	部長	新しく見いだされた抗がん宿主細胞によるがん細胞の認識機構及びその誘導機構の解析とそれらの知見に基づいた新しいがん治療法の開発
26	平06	1995/2/22	明渡 均	大阪府立成人病センター研究所	所長	浸潤・転移の分子機構の解析と転移の予防法の開発
26	平06	1995/2/22	江見 充	日本医科大学老人病研究所	教授	家族性乳癌および散発性乳癌の遺伝子診断
26	平06	1995/2/22	加藤 洋	(財)癌研究会癌研究所	部長	遺伝子情報と形態学を総合したがん個性診断学の確立
26	平06	1995/2/22	清木 元治	金沢大学がん研究所	教授	膜型マトリックスメタロプロテイナーゼの癌浸潤における役割の解析
26	平06	1995/2/22	田島 和雄	愛知県がんセンター研究所	部長	ヒトT細胞白血病ウイルス(HTLV)の予防介入研究とその国際比較
26	平06	1995/2/22	長田 重一	(財)大阪バイオサイエンス研究所	部長	Fas, Fasリガンドを介したアポトーシスの分子機構
26	平06	1995/2/22	松居 靖久	東北大学加齢医学研究所	助教授	癌原遺伝子c-kitの発現異常と精巣性テラトーム発症の関係の解析
26	平06	1995/2/22	森 秀樹	岐阜大学医学部	教授	大腸発癌予防物質の早期検出と大腸発癌プログレッションの抑制に関する研究
26	平06	1995/2/22	山口 建	国立がんセンター研究所	部長	ホルモン前駆体を利用する肺小細胞がん腫瘍マーカーの開発
26	平06	1995/2/22	若林 敬二	国立がんセンター研究所	部長	発がん性ヘテロサイクリックアミンのヒト曝露量に関する研究
27	平07	1996/2/22	今岡 真義	大阪府立成人病センター	外科部長	微小・潜在癌の診断体系の確立と隣分割切除術の開発
27	平07	1996/2/22	牛島 俊和	国立がんセンター研究所	室長	MNNG (N-methyl- N'-nitro- N-nitrosoguanidine)によるラット胃発がんに対する感受性を決定する染色体座位の同定
27	平07	1996/2/22	海老原 敏	国立がんセンター東病院	院長	機能温存を目指した頭頸部がんの外科療法
27	平07	1996/2/22	小田 秀明	東京大学医学部	助教授	p53遺伝子欠損マウスにおける経胎盤ENU投与による脳腫瘍の解析
27	平07	1996/2/22	佐藤 昇志	札幌医科大学医学部	助教授	ヒト癌拒絶抗原ペプチドの決定と特異的癌免疫治療への応用
27	平07	1996/2/22	野瀬 清	昭和大学薬学部	教授	細胞老化および分化に関与する新規遺伝子(HIC-5)の作用機構の解析
27	平07	1996/2/22	広瀬 雅雄	名古屋市立大学医学部	助教授	ヘテロサイクリックアミン発癌の化学予防に関する実験的研究

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
27	平07	1996/2/22	古川 龍彦	鹿児島大学医学部	助手	チミジンフォスホリラーゼ阻害剤による腫瘍増殖抑制効果の検討
27	平07	1996/2/22	南 康博	神戸大学医学部	助教授	血液・免疫系細胞の増殖および細胞死の分子機構の解析
27	平07	1996/2/22	宮園 浩平	(財)癌研究会癌研究所	部長	TGF- レセプターのシグナル伝達機構と発癌機構の研究
28	平08	1997/2/22	上田 龍三	名古屋市立大学医学部	教授	造血器腫瘍におけるゲノム不安定性に関する研究
28	平08	1997/2/22	小守 壽文	大阪大学医学部	助手	コンディショナル遺伝子破壊による発がん機構の解析
28	平08	1997/2/22	田中 信之	東京大学医学部	助教授	癌抑制遺伝子 IRF-1 及び p53 による癌化・細胞周期・細胞死の制御機構の解析
28	平08	1997/2/22	津田 洋幸	国立がんセンター研究所	部長	ヒトHa- <i>ras</i> 遺伝子導入ラットにおける発がん感受性の解析と発がんならびにがん予防物質早期検索法への応用
28	平08	1997/2/22	時野 隆至	東京大学医科学研究所	助教授	癌抑制遺伝子 p53 によって発現制御される新規の遺伝子群の機能解析
28	平08	1997/2/22	戸口田 淳也	京大大学生体医療工学研究センター	助教授	骨肉腫における癌抑制遺伝子の不活化と発癌機構の解析
28	平08	1997/2/22	徳久 剛史	千葉大学医学部	教授	BCL6 遺伝子欠損マウスに見られた終末分化細胞死とそのリンパ球腫瘍化機構の解析
28	平08	1997/2/22	畠山 昌則	(財)癌研究会癌研究所	部長	細胞増殖シグナル伝達におけるレチノブラストーム癌抑制遺伝子産物(pRB)の役割
28	平08	1997/2/22	的崎 尚	神戸大学医学部	助手	チロシンホスファターゼ SHP-2 の標的基質蛋白質 SHPS-1 に関する研究
28	平08	1997/2/22	山下 克子	(財)佐々木研究所	部長	細胞周期依存的糖鎖合成制御異常の分子生物学的背景
28	平08	1997/2/22	湯浅 保仁	東京医科歯科大学医学部	教授	TGF- 系遺伝子の解析による大腸発癌機構の解明
28	平08	1997/2/22	渡辺 雅彦	国立がんセンター研究所	室長	モンシロチョウに存在するがん細胞傷害性因子(ピエリシン)の同定とその作用機構の解明
29	平09	1998/2/28	稲澤 譲治	東京大学医科学研究所	助教授	分子細胞遺伝学的アプローチによる癌のゲノム異常解析と新規癌関連遺伝子の単離
29	平09	1998/2/28	神奈木 玲児	愛知県がんセンター研究所	部長	細胞の悪性化に伴う異常糖鎖発現の転写制御機構
29	平09	1998/2/28	小西 陽一	奈良県立医科大学	教授	アポトーシスを指標とする膀胱癌進展阻止物質の検索
29	平09	1998/2/28	斎藤 政樹	北海道大学医学部	教授	における発現機構解明とその情報の制癌への応用
29	平09	1998/2/28	佐藤 孝明	理化学研究所	主任研究員	ガン細胞における細胞死回避のメカニズムに関する基礎研究
29	平09	1998/2/28	佐谷 秀行	熊本大学医学部	教授	ショウジョウバエ癌抑制遺伝子のヒト相同遺伝子の同定とその機能解析
29	平09	1998/2/28	藤 也寸志	国立病院九州がんセンター臨床研究部	室長	癌の浸潤転移の分子機構の解明; 新しい癌転移関連遺伝子 mta1 に関する基礎的研究
29	平09	1998/2/28	豊島 秀男	(財)東京都臨床医学総合研究所	室長	細胞周期の進行においてG1サイクリン・CDK複合体のリン酸化標的となる新たな細胞周期制御因子の同定
29	平09	1998/2/28	益谷 美都子	国立がんセンター研究所	室長	ジーンターゲットングによるポリ(ADP-リボース)合成酵素の機能解析
29	平09	1998/2/28	三木 義男	(財)癌研究会癌研究所	部長	乳癌関連遺伝子の単離とそれらを用いた遺伝子診断の確立
30	平10	1999/2/22	安達 正晃	札幌医科大学医学部	講師	アポトーシスによる癌転移の制圧
30	平10	1999/2/22	川畑 正博	(財)癌研究会癌研究所	主任研究員	Transforming Growth Factor- (TGF-)による癌抑制作用の分子機構の研究
30	平10	1999/2/22	佐々木 博己	国立がんセンター研究所	室長	がんにおける遺伝子増幅ユニットの構造解析とその分子機構の解明

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
30	平10	1999/2/22	珠玖 洋	三重大学医学部	教授	癌遺伝子産物由来ペプチドの癌抗原としての同定とそれを用いた癌治療
30	平10	1999/2/22	高田 賢蔵	北海道大学医学部	教授	EBウイルスによる発癌機構の研究
30	平10	1999/2/22	田矢 洋一	国立がんセンター研究所	室長	p53とRB蛋白質のリン酸化の生理的意義の研究
30	平10	1999/2/22	直江 知樹	名古屋大学医学部	助教授	白血病進展に関与するFLT3異常分子の生物学的意義の解明
30	平10	1999/2/22	中尾 光善	熊本大学医学部	助手	がん関連蛋白質の分解による腫瘍発生機構の解明
30	平10	1999/2/22	中釜 斉	国立がんセンター研究所	部長	発がんにおけるゲノム不安定化の新しい機構に関する研究 ミニサテライト反復配列を介するゲノム不安定化の解析
30	平10	1999/2/22	渡邊 武	九州大学生体防御医学研究所	教授	免疫細胞に増殖抑制・細胞死を誘導する新たな腫瘍抗原 (RCAS1) の機能解析
31	平11	2000/2/22	伊藤 和幸	大阪府立成人病センター研究所	主任研究員	低分子量G蛋白質Rho/Rho-kinase系を介する腫瘍細胞の浸潤(接着と運動)の制御
31	平11	2000/2/22	稲垣 昌樹	愛知県がんセンター研究所	部長	細胞質分裂における細胞骨格の制御機構(癌細胞における多核細胞形成のメカニズム)の解明
31	平11	2000/2/22	稲葉 俊哉	自治医科大学	講師	癌原性Rasに制御されたBim / ダイニン軽鎖複合体の発がんへの関与
31	平11	2000/2/22	川森 俊人	国立がんセンター研究所	室長	大腸発がんにおけるプロスタノイド受容体の役割
31	平11	2000/2/22	菊池 章	広島大学医学部	教授	Wntシグナル伝達経路の異常による発癌の分子機構
31	平11	2000/2/22	河野 公俊	産業医科大学医学部	教授	癌細胞におけるY-box 結合蛋白YB-1の機能解析と発現制御
31	平11	2000/2/22	中村 卓郎	(財)癌研究会癌研究所	部長	白血病原因キメラ遺伝子 <i>NUP98-HOXA9</i> 、 <i>NUP98-PMX1</i> の機能解析
31	平11	2000/2/22	松田 道行	国立国際医療センター研究所	部長	RasファミリーG蛋白Rap2の機能および制御機構の解析
31	平11	2000/2/22	松本 邦夫	大阪大学大学院医学系研究科	助教授	腫瘍血管新生阻止ならびに浸潤・転移阻止能をもつ2面性生理活性物質HGF/NK4による制癌研究
31	平11	2000/2/22	八木田 秀雄	順天堂大学医学部	助教授	細胞障害性リンパ球による標的細胞破壊機構の解明およびその制御
32	平12	2001/2/22	伊東 文生	札幌医科大学	講師	高悪性度胃癌における染色体不安定性とDNAメチル化による14-3-3 遺伝子不活化との関連についての研究
32	平12	2001/2/22	上野 光	産業医科大学	教授	腫瘍血管新生抑制分子および細胞外マトリクス制御分子を用いた癌の遺伝子治療法の開発
32	平12	2001/2/22	牛島 俊和	国立がんセンター研究所	部長	MNNGによる胃発がんを高感受性及び抵抗性を示すラット2系統の幽門粘膜で発現量が異なる遺伝子の網羅的な単離
32	平12	2001/2/22	神田 忠仁	国立感染症研究所	室長	ヒトパピローマウイルス感染予防ワクチンの開発
32	平12	2001/2/22	佐治 重豊	岐阜大学医学部	教授	乳癌におけるエストロゲンレセプター、の新たな評価法の確立と治療への応用
32	平12	2001/2/22	杉山 治夫	大阪大学医学部	教授	WT1タンパクを標的にした、白血病の免疫療法の開発
32	平12	2001/2/22	立松 正衛	愛知県がんセンター研究所	部長	Helicobacter pylori感染の胃がん発生過程における作用機構
32	平12	2001/2/22	三谷 絹子	獨協医科大学	教授	12p13転座型白血病の分子機構の解析
32	平12	2001/2/22	山泉 克	熊本大学発生医学研究センター	教授	複製と共役して働くDNA修復機構の主役、hRad18の機能調節
32	平12	2001/2/22	山崎 洋	関西学院大学理学部	教授	細胞間ネットワーク調節と細胞増殖制御
33	平13	2002/2/22	荒川 博文	国立がんセンター研究所	部長	p53標的遺伝子の単離・機能解析とがん治療法開発への応用
33	平13	2002/2/22	神奈木 真理	東京医科歯科大学	教授	成人T細胞白血病の発症予防に関する研究
33	平13	2002/2/22	小松 賢志	広島大学原爆放射能医学研究所	教授	DNA二重鎖切断によるゲノム不安定化とNBS1蛋白機能

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
33	平13	2002/2/22	瀬谷 司	大阪府立成人病センター研究所	所長	微生物成分と自然免疫による抗がん免疫療法の確立に向けて
33	平13	2002/2/22	高倉 伸幸	金沢大学	教授	TIE2レセプター型チロシキナーゼの機能制御による腫瘍血管新生抑制の研究
33	平13	2002/2/22	高村 岳樹	国立がんセンター研究所	研究員	DNAのモノADPリボシル化により誘発されるアポトーシス及び突然変異原性に関する研究
33	平13	2002/2/22	高山 哲治	札幌医科大学	講師	GST- を標的とした大腸癌の化学予防
33	平13	2002/2/22	中江 大	財団法人佐々木研究所	部長	ラットにおけるフリーラジカルの関与する肝発癌分子機構の解明に関する研究
33	平13	2002/2/22	長谷川 博	茨城県立中央病院	名誉院長	超早期膵癌発見のために開発した特殊CTマツトと画像処理法の普及
33	平13	2002/2/22	本田 浩章	広島大学原爆放射能医学研究所	教授	慢性骨髄球性白血病の急性転化に関わる遺伝子の包括的解析と治療への応用
34	平14	2003/2/22	飯田 真介	名古屋市立大学大学院	講師	多発性骨髄腫発症に関わる分子機構の解明と治療標的分子の探索
34	平14	2003/2/22	井上 聡	東京大学医学部附属病院	講師	ホルモン依存性の蛋白分解経路を標的とした新しい乳癌治療法の開発
34	平14	2003/2/22	鈴木 聡	秋田大学	教授	癌抑制遺伝子PTENの各種臓器における機能解析
34	平14	2003/2/22	高橋 克仁	大阪府立成人病センター	部長	次世代ヘルペスウィルス複製・発現ベクターを用いた難治性肉腫に対する新しい標的治療法の開発
34	平14	2003/2/22	豊田 実	札幌医科大学	助手	大腸癌におけるエピジェネティックな異常の網羅的解析
34	平14	2003/2/22	中尾 光善	熊本大学発生医学研究センター	教授	癌細胞におけるエピジェネティクスと細胞核構造の異常の分子機構
34	平14	2003/2/22	野田 亮	京都大学	教授	転移抑制遺伝子RECKの機能解析とがん診療への応用
34	平14	2003/2/22	福田 博政	国立がんセンター研究所	室長	G-richな単純反復DNA配列を有するゲノム領域の安定化におけるUPI蛋白質の関与に関する研究
34	平14	2003/2/22	森 正樹	九州大学生体防御医学研究所	教授	新規癌抑制遺伝子FHITを用いた癌の新しい治療法の開発
34	平14	2003/2/22	山本 雅	東京大学医科学研究所	教授	ヒトがんにおける細胞増殖抑制性Tob遺伝子の発現制御
35	平15	2004/2/23	江角 浩安	国立がんセンター研究所支所	支所長	がん細胞の栄養飢餓耐性のメカニズムとこれを標的とした治療薬の開発
35	平15	2004/2/23	久保 肇	京都大学大学院	特任助教授	腫瘍リンパ管新生の分子機構解明とその制御によるがんリンパ節転移の抑制
35	平15	2004/2/23	瀬戸 加大	愛知県がんセンター研究所	部長	粘膜関連リンパ組織(MALT)リンパ腫の病因と病態に関する遺伝子の解析
35	平15	2004/2/23	高岡 晃教	東京大学	講師	p53を中心とした抗腫瘍シグナルの解析とその応用
35	平15	2004/2/23	西村 孝司	北海道大学遺伝子病制御研究所	教授	Th1主導免疫の重要性とその癌ワクチン細胞治療への応用に関する研究
35	平15	2004/2/23	畠山 昌則	北海道大学遺伝子病制御研究所	教授	遺伝子改変マウスを用いたピロリ菌由来胃発癌関連因子CagAの解析
35	平15	2004/2/23	羽瀨 友則	秋田大学	教授	前立腺癌における内分泌療法抵抗性の予知とその克服を目的とした遺伝子多型解析
35	平15	2004/2/23	山下 聡	国立がんセンター研究所	研究員	発がん物質に対する初期応答を細胞が記憶する可能性の検討
35	平15	2004/2/23	山本 博幸	札幌医科大学	助手	-カテニン変異によるマイクロサテライト不安定性消化器癌の発癌・進展機構の解析
35	平15	2004/2/23	矢守 隆夫	癌研究会癌化学療法センター	部長	抗がん剤感受性に関わるがん細胞プロテオームの解析
36	平16	2005/2/22	秋山 徹	東京大学分子細胞生物学研究所	教授	癌抑制遺伝子APCの機能

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
36	平16	2005/2/22	荒瀬 尚	大阪大学微生物病研究所	助教授	新規NK細胞レセプターと腫瘍リガンドの解明による抗腫瘍免疫療法の開発
36	平16	2005/2/22	岡本 圭生	滋賀医科大学	助手	ヒト精巣腫瘍のエピジェネティクスを利用した新規腫瘍マーカーの開発
36	平16	2005/2/22	落合 淳志	国立がんセンター研究所支所	部長	ホルモン依存性がん細胞の骨特異的転移機構の解明と治療法の開発
36	平16	2005/2/22	鈴木 健司	国立がんセンター中央病院	医員	早期肺癌に対する縮小切除の適応に関する研究
36	平16	2005/2/22	高野 徹	大阪大学大学院	講師	甲状腺腫瘍の穿刺吸引核酸診断法の確立
36	平16	2005/2/22	高橋 雅英	名古屋大学大学院	教授	RET癌遺伝子による臓器特異的発癌の分子機構と治療法の開発研究
36	平16	2005/2/22	寺町 芳子	大分大学	助手	がん患者の意思決定に影響を及ぼす悪い知らせを伝える際の医療者の態度および援助の実際
36	平16	2005/2/22	中尾 昭公	名古屋大学大学院	教授	変異単純ヘルペスウイルス(HF10)を用いた癌治療
36	平16	2005/2/22	浜島 信之	名古屋大学大学院	教授	大腸腺腫患者に対するアスピリン投与の効果と遺伝子型に関する研究
36	平16	2005/2/22	松浦 成昭	大阪大学大学院	教授	新しい分子生物学的手法を用いた癌転移の高感度迅速診断法の開発と微小転移の意義の解明
37	平17	2006/2/28	石川 雄一	財団法人癌研究会癌研究所	部長	肺がんの個別化診断 - Bench to Bed
37	平17	2006/2/28	鎌田 恭輔	東京大学医学部	助手	脳機能統合型ニューロナビゲーションと脳皮質-白質機能モニタリング融合によるfunctional neurosurgeryの確立
37	平17	2006/2/28	黒川 峰夫	東京大学大学院	教授	腫瘍幹細胞による白血病発症機構の解明
37	平17	2006/2/28	後藤 由季子	東京大学	教授	原癌遺伝子Aktによる細胞生存促進と癌化のメカニズム
37	平17	2006/2/28	笹野 公伸	東北大学大学院	教授	ヒト肺癌での組織内エストロゲン産生と作用機序
37	平17	2006/2/28	高橋 智聡	京都大学大学院	助教授	多重変異マウスの解析からヒト発がん・転移メカニズムの解明へ
37	平17	2006/2/28	田原 栄俊	広島大学	助教授	G-tailをターゲットにした抗癌剤の開発
37	平17	2006/2/28	土屋 直人	国立がんセンター研究所	研究員	microRNAを介するSND1/p100によるがん細胞の運動能及び転移の制御に関する研究
37	平17	2006/2/28	安友 康二	徳島大学大学院	教授	Notch分子を制御することによる癌免疫療法の開発
37	平17	2006/2/28	吉田 緑	財団法人佐々木研究所	主任研究員	ラットモデルを用いた子宮体部癌の進展および悪性化に関する研究
38	平18	2007/2/28	新井 郷子	東京大学大学院医学系研究科	助手	新しいポリコム分子 MBT-1 による白血病制御を目指して
38	平18	2007/2/28	及川 恒之	北海道医療大学	教授	PU.1およびGfi-1Bがん遺伝子産物の相互作用と血液細胞の分化・がん化
38	平18	2007/2/28	大西 ゆかり	四国がんセンター	看護師	リンパ浮腫を発症した患者のセルフケア方法の開発
38	平18	2007/2/28	木村 晋也	京都大学医学部附属病院	講師	薬剤耐性に関わる点突然変異全自動測定機器を用いた、慢性骨髄性白血病患者に対するテーラーメイド治療法の構築
38	平18	2007/2/28	葛島 清隆	愛知県がんセンター研究所	部長	EBウイルス陽性癌に対する免疫療法の構築研究
38	平18	2007/2/28	河野 隆志	国立がんセンター研究所	室長	ヒトがん治療の標的となるDNA切断修復経路の解明
38	平18	2007/2/28	中島 淳	横浜市立大学附属病院	部長	Wnt/ -catenin 経路を標的とした大腸がん化学予防のためのトランスレショナルリサーチ
38	平18	2007/2/28	広田 亨	癌研究会癌研究所	部長	分裂期キナーゼによる染色体の制御機構

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
38	平18	2007/2/28	二口 充	名古屋市立大学大学院医学研究科	講師	前立腺癌骨転移巣を促進するTGF β をMMP13が活性化するメカニズムの解明と、これに基づく骨転移進展の阻止
38	平18	2007/2/28	山田 哲司	国立がんセンター研究所	部長	プロテオーム解析による大腸癌の発生と浸潤・転移機構の解明と治療標的の同定
39	平19	2008/2/22	今村 健志	財団法人癌研究会	部長	インビボ蛍光イメージングを利用した癌骨転移におけるBMPの作用機序の解明
39	平19	2008/2/22	杉原 一廣	浜松医科大学医学部	准教授	悪性腫瘍血管内皮細胞を標的とする分子標的治療薬
39	平19	2008/2/22	高橋 隆	名古屋大学大学院医学系研究科附属	教授	マイクロRNA発現異常からみたヒト肺癌の発生・進展の分子病態
39	平19	2008/2/22	竹田 和由	順天堂大学医学部	准教授	細胞死誘導と免疫活性化による癌治療と拒絶メカニズムの解析
39	平19	2008/2/22	富田 真理子	琉球大学大学院	助教	ヒトT細胞白血病ウイルス1型の潜伏感染維持におけるマイクロRNAの役割
39	平19	2008/2/22	中村 栄男	名古屋大学大学院医学系研究科	教授	加齢性EBV関連リンパ増殖異常症の臨床病理学的および、免疫学的研究
39	平19	2008/2/22	服部 豊	慶應義塾大学	講師	難治性造血器腫瘍に対するポストサリドマイド世代の画期的治療法の開発
39	平19	2008/2/22	松村 保弘	国立がんセンター東病院	部長	がん治療におけるドラッグデリバリーシステムの開発
39	平19	2008/2/22	間野 博行	自治医科大学	教授	新規肺がん原因遺伝子EML4-ALKの機能解析と臨床応用
39	平19	2008/2/22	三浦 雅彦	東京医科歯科大学大学院	准教授	放射線療法と腫瘍血管の老化に関する研究
39	平19	2008/2/22	安井 弥	広島大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	SAGE法とCAST法による消化器癌の新規診断・治療標的の同定
39	平19	2008/2/22	吉村 昭彦	九州大学	教授	炎症シグナルの制御と発癌
40	平20	2009/2/24	石川 治	大阪府立成人病センター	病院長	膵癌に対する新しい術前化学放射線治療と微小癌遺残の術中 real-time 可視化・検出に関する臨床研究
40	平20	2009/2/24	伊地知 秀明	東京大学医学部附属病院	助教	遺伝子改変膵発癌マウスモデルを用いた膵癌発癌機序の解明
40	平20	2009/2/24	井上 純一郎	東京大学医科学研究所	教授	難治性乳癌における転写因子 NF κ B 恒常的活性化の分子機構と癌悪性化における役割解明
40	平20	2009/2/24	今井 陽一	東京大学医学部附属病院	講師	生体イメージングに基づく骨髄微小環境における白血病幹細胞の動態の解析
40	平20	2009/2/24	菊池 章	広島大学大学院	教授	Wnt5a の過剰発現による癌の悪性化の分子機構
40	平20	2009/2/24	後藤 英仁	愛知県がんセンター研究所	室長	細胞がん化における分裂期キナーゼPolo-like kinase 1 (Plk1)の役割
40	平20	2009/2/24	柴田 龍弘	国立がんセンター研究所	プロジェクトリーダー	新規がん遺伝子 Nrf2 の発見を起点とした新しい発がん分子機構の解明とがん治療への応用
40	平20	2009/2/24	渋谷 彰	筑波大学大学院	教授	DNAM-1(CD226) による癌免疫監視
40	平20	2009/2/24	高橋 真美	国立がんセンター研究所	室長	動物モデルにおける高脂肪食及びアルコール摂取の膵臓発がん促進効果の解析
40	平20	2009/2/24	田中 伸幸	宮城県立がんセンター研究所	部長	ユビキチン依存性小胞輸送によるがん制御

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
40	平20	2009/2/24	千葉 滋	筑波大学大学院	教授	ヒト造血細胞を用いた慢性骨髄性白血病の再構築
40	平20	2009/2/24	津田 均	国立がんセンター中央病院	室長	トリプルネガティブ乳癌における化学療法反応性予測マーカーの同定と治療標的分子の探索
40	平20	2009/2/24	坪井 康次	筑波大学人間総合科学研究科	教授	がんに対する陽子線照射と腫瘍免疫融合療法に関する基礎的研究
40	平20	2009/2/24	中面 哲也	国立がんセンター東病院	室長	臨床試験による癌抗原ペプチドワクチンの有効性の検証
40	平20	2009/2/24	濱谷 清裕	財団法人放射線影響研究所	室長	放射線発がんの分子機構-原爆被爆者の結腸がん及び甲状腺乳頭がんについて-
40	平20	2009/2/24	原 英二	財団法人癌研究会癌研究所	部長	細胞老化の2面性(発がん防御と発がん促進)を規定する分子基盤の解明
40	平20	2009/2/24	丸 義朗	東京女子医科大学	教授	病原体センサーの新規内因性リガンドを標的とする転移抑制機構の解明
40	平20	2009/2/24	谷田部 恭	愛知県がんセンター中央病院	部長	肺腺癌における分子生物学的分類の検討
40	平20	2009/2/24	山田 亮	久留米大学先端癌治療研究センター	教授	マルチペプチド混合がんワクチンの開発基礎研究:ポステラーメイドワクチンの開発
40	平20	2009/2/24	米田 俊之	大阪大学大学院	教授	がん骨転移による骨痛におけるプロトン感受性受容体 TRPV1 の関与
41	平21	2010/2/23	秋山 泰身	東京大学医科学研究所 分子発癌分野	准教授	胸腺のT細胞選択機構を利用したがん免疫強化と医薬品検索の基礎的検討
41	平21	2010/2/23	石川 冬木	京都大学大学院生命科学研究所	教授	がんの悪性化におけるテロメア機能異常の役割
41	平21	2010/2/23	石田 高司	名古屋市立大学大学院医学研究科	講師	悪性リンパ腫に対する抗CCR4抗体治療のリバーストランスレシヨナルリサーチによる至適治療法の確立
41	平21	2010/2/23	植村 靖史	関西医科大学大学院幹細胞生物学分野	講師	多能性幹細胞由来の樹状細胞を用いてGVHDおよびGVL応答を制御する新たな医療技術の開発
41	平21	2010/2/23	依馬 正次	筑波大学人間総合科学研究科基礎医学系	講師	アザチロシンによるがん細胞の増殖抑制制御の分子機構の解明
41	平21	2010/2/23	北林 一生	国立がんセンター研究所分子腫瘍学部	部長	白血病幹細胞を標的とした新たな治療法の開発
41	平21	2010/2/23	堺 隆一	国立がんセンター研究所細胞増殖因子研究部	部長	がん転移の臓器特異性におけるp130Cas蛋白質およびCDCP1蛋白質の役割
41	平21	2010/2/23	清水 律子	東北大学大学院医学系研究科	教授	白血病自然発症マウスを用いた多段階発がんメカニズムの解析
41	平21	2010/2/23	梶村 春彦	浜松医科大学病理学第一講座	教授	本邦の家族性胃がんで見つかった遺伝子変異の機能解析
41	平21	2010/2/23	高井 義美	神戸大学大学院医学研究科	教授	接着分子ネクチンとその類似分子を標的としたがんの診断法と治療法の開発への基礎研究
41	平21	2010/2/23	竹内 賢吾	()癌研究会癌研究所	研究員	病理組織学を用いた独自の方法を基盤とした固形がんにおける新規チロシンキナーゼ融合遺伝子の同定
41	平21	2010/2/23	田中 信之	日本医科大学老人病研究所	教授	炎症誘発がんの発生におけるIL-6-Stat3-グルコース代謝制御経路の役割
41	平21	2010/2/23	土原 一哉	国立がんセンター東病院臨床開発センター	室長	運動による代謝異常改善・発がん予防の生物学的基盤の構築
41	平21	2010/2/23	豊田 実	札幌医科大学学生化学講座	教授	エピゲノム解析による進行大腸がんのオリジン解明

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
41	平21	2010/2/23	中西 真	名古屋市立大学大学院医学研究科	教授	クロマチン修飾を介した早期細胞老化誘導機構の解明
41	平21	2010/2/23	萩原 弘一	埼玉医科大学呼吸器内科	教授	非小細胞肺癌実臨床検体におけるEGFR, EML4-ALK全数同時測定 の基盤整備と前向き研究
41	平21	2010/2/23	丸澤 宏之	京都大学大学院医学研究科	助教	炎症からの発がんモデルマウスを用いた肝がん発生機序の解明
41	平21	2010/2/23	本橋 ほづみ	東北大学大学院医学系研究科	准教授	がん幹細胞における酸化ストレスの影響とKeap1/Nrf2制御系の機能貢 献に関する研究
41	平21	2010/2/23	山田 康秀	国立がんセンター中央病院第一領域外来部	医長	内視鏡生検組織を用いた抗がん剤の感受性予測に関する研究
41	平21	2010/2/23	山本 匠	東京大学医学部形成外科	主任研究代表	ICGリンパ管造影によるリンパ浮腫の早期診断と重症度評価
42	平22	2011/2/22	荒木 淳	東京大学	特任臨床医	Super-microsurgeryを用いた同種肛門移植研究 ~ 肛門部癌切除後患 者のQOL向上 ~
42	平22	2011/2/22	飯田 拓也	東京大学医学部附属病院	助教	がん切除後欠損の再建にむけた超微細血管吻合を用いた同種複合組 織移植法の開発と機能評価
42	平22	2011/2/22	石井 秀始	九州大学生体防御医学研究所	特任准教授	安全で革新的な細胞再プログラム法の開発
42	平22	2011/2/22	石内 勝吾	琉球大学大学院	教授	神経膠芽腫の階層的構築の解明 - 発生母細胞から浸潤最先端細胞ま での細胞系譜学的解析
42	平22	2011/2/22	片桐 豊雅	徳島大学	教授	新規エストロゲン依存性乳癌増殖機構の解明と革新的治療薬の創製
42	平22	2011/2/22	清野 透	国立がん研究センター研究所	部長	ヒト正常膵管上皮細胞を用いた人工膵がん幹細胞の樹立と同細胞を標 的とした治療標的分子の検索
42	平22	2011/2/22	近藤 英作	愛知県がんセンター研究所	部長	難治性がんとしての膵がんを標的とするペプチドツールによる新しい医 療技術の開発研究
42	平22	2011/2/22	柴田 龍弘	国立がん研究センター研究所	分野長	肺がんのトランスクリプトーム解読によって同定した新規キナーゼ融合遺 伝子の機能解析と分子標的治療への展開
42	平22	2011/2/22	渋谷 潔	国保松戸市立病院	部長	Endo-Cytoscopy Systemによる新しい生体内顕微内視鏡を用いた気管 支dysplasiaの自然史解析
42	平22	2011/2/22	田中 耕三	東北大学加齢医学研究所	准教授	新規分子CAMPの異常による染色体不安定性の発生機構の解明
42	平22	2011/2/22	田中 知明	千葉大学大学院	助教	次世代型がん創薬標的検索を目指した分子間架橋技術応用による癌抑 制遺伝子p53のクロマチンとエピゲノム機能制御の基盤的研究
42	平22	2011/2/22	千葉 勉	京都大学大学院	教授	炎症発癌における遺伝子変異導入機構についての研究 - Activation- induced cytidine deaminase(AID)の役割の解明を中心に -
42	平22	2011/2/22	豊國 伸哉	名古屋大学大学院	教授	アスベスト誘発発がん機構の解明とその早期診断・予防への応用
42	平22	2011/2/22	中川 英刀	理化学研究所	チームリー ダー	遺伝子多型解析による前立腺癌の診断バイオマーカーの開発
42	平22	2011/2/22	西村 泰治	熊本大学大学院	教授	理想的な新規がん抗原とiPS細胞由来の樹状細胞を利用したがん免疫 療法の開発
42	平22	2011/2/22	平岡 伸介	国立がん研究センター研究所	室長	ヒト膵がんの免疫微小環境
42	平22	2011/2/22	藤田 雅俊	九州大学大学院薬学研究院	教授	培養細胞系において選択的殺がん作用を持つCdtl-geminin結合阻害性 化合物Yを用いた抗がん剤開発
42	平22	2011/2/22	益谷 美都子	国立がん研究センター研究所	部長	PARP-PARG経路を標的とする制がん法の基盤確立と効果規定因子の 研究

回	年度	受賞・受領年月日	氏名	所属	職	業績/題目
42	平22	2011/2/22	室伏 きみ子	お茶の水女子大学大学院	教授	脂質メディエーター・環状ホスファチジン酸(cPA)によるがんの浸潤・転移と痛みの抑制
42	平22	2011/2/22	湯浅 保仁	東京医科歯科大学大学院	教授	未分化型胃がんのマウスモデルの解析